

工場棟「焼却施設」処理の流れ



中央制御室
施設全体の稼働状況を管理します。機器の状態や処理の状況を画面上で監視し、安全で効率の良い運転制御を行います。



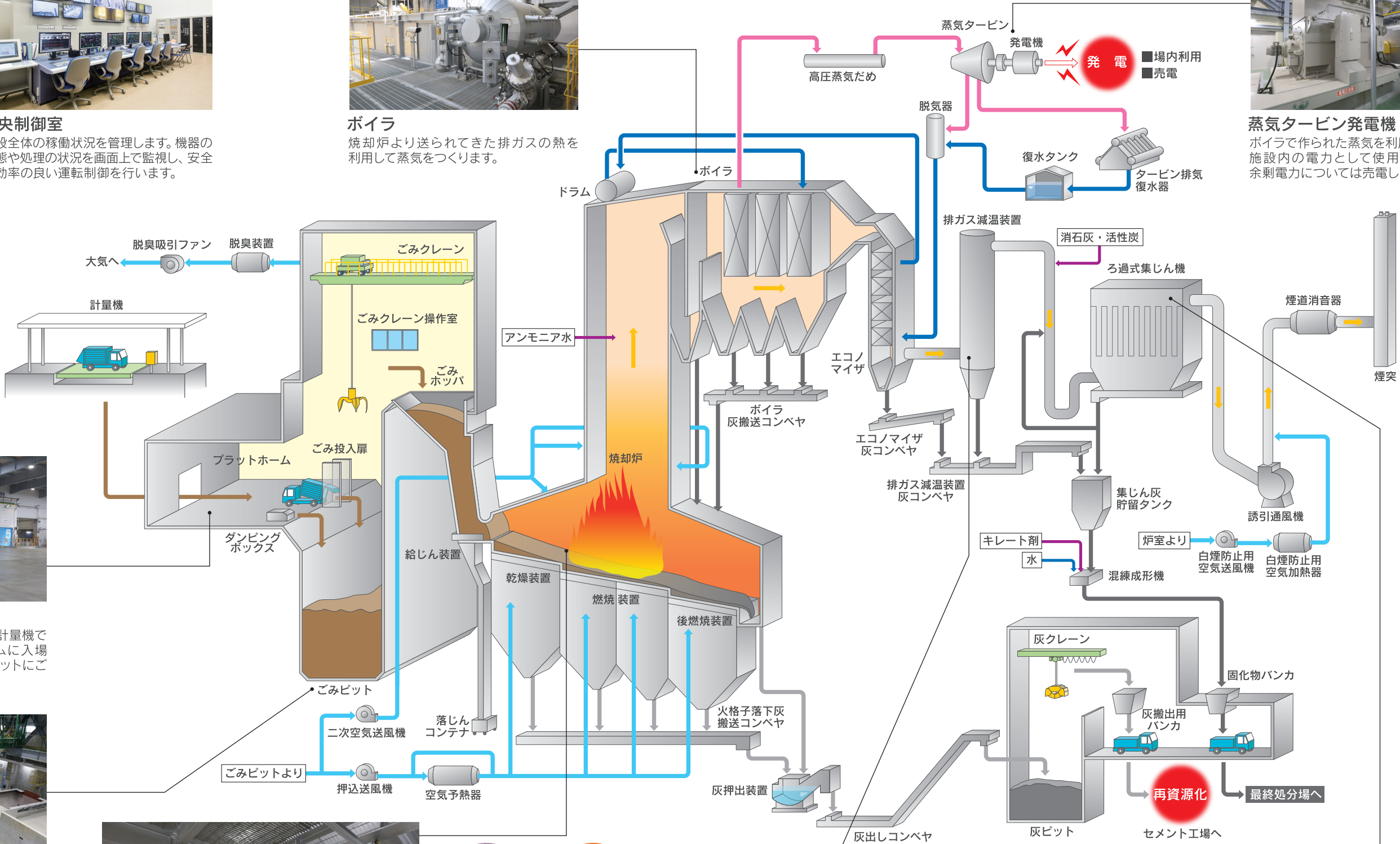
ボイラ
焼却炉より送られてきた排ガスの熱を利用して蒸気をつくります。



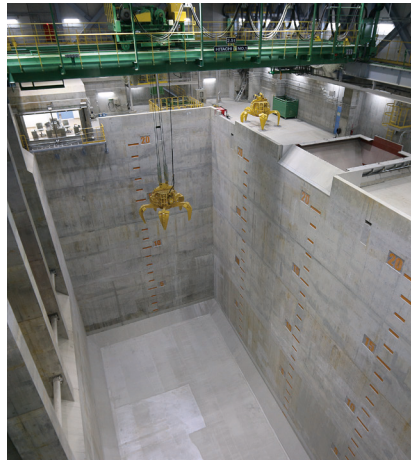
蒸気タービン発電機
ボイラで作られた蒸気を利用して発電し、施設内の電力として使用するとともに、余剰電力については売電します。

凡 例

- ごみの流れ
- 排ガスの流れ
- 空気の流れ
- 主灰の流れ
- 飛灰の流れ
- 蒸気の流れ
- 薬品の流れ
- 水の流れ



プラットホーム
ごみ収集車や一般の搬入車両は計量機で重さを量ってからプラットホームに入場し、5つのごみ投入扉からごみビットにごみを投入します。



ごみビット
[幅 14m×長さ 28m、容量約 4,000m³]
ごみは一旦ごみビットに貯留され、ごみクレーンにより攪拌し、均一化した後で、ごみホッパに投入します。



炉内(ストーカ) 焼却炉
様々なごみ質に対応してそれぞれのごみ送り速度と燃焼用空気の吹き込み量を調節することで、850～950℃で焼却を行い、ダイオキシン類の発生を抑制します。



排ガス減温装置
エコノマイザを通してきた排ガスの温度を急速に冷却し、ダイオキシン類の再合成を抑制します。

ろ過式集じん機 (バグフィルタ)
消石灰及び活性炭を吹き込んだ排ガスをろ過し、排ガス中に含まれる硫酸化合物、塩化水素、ダイオキシン類等の有害物質を取り除きます。

